

## 全日本スノーモバイル選手権 S X - A 1クラスで郷竜太選手総合優勝



来年の活躍が期待される  
郷瞬希選手(左)と郷竜太選手(右)

全日本スノーモバイル選手権の上位2番目のS X - A 1クラスで郷竜太選手(三笠)が2018シーズン総合優勝しました。

全5戦が道内外で転戦して行われ、4戦を終えた時点での総合順位は第2位。最終戦での大逆転で見事優勝に輝き、来年後から最高峰クラスS X - P R Oへの参戦が決定しました。「結果が出ない時期もあったが、家族や仲間の支えがあったからがんばれた。感謝したい。」と語ってくれました。

竜太選手が所属する「ke-go. Racing」(ケーゴレーシング)は会長の郷敦司さん(父)監督の郷和幸さん(叔父)をはじめ約30人が所属する国内最大チーム。チーム内にはすでにS X - P R Oに参戦している従兄弟の郷瞬希(三笠)選手もいる。来年はS X - P R Oクラスでのチャンピオンを目指し、お互いに切磋琢磨し活躍してくれることでしょう。



ke-go. Racingに所属する強力なサポートメンバー

## 小・中学生が奥山町長と意見交換



2月26日(火)、和寒中学校で中学3年生を対象に奥山町長によるキャリア教育講話が行われました。講話は生徒の質問に答える形で進められ、和寒町で過ごした学生時代の思い出や、就職した時の話、町長になってからのまちづくりの抱負など、普段聞くことができない話に生徒は目を輝かせて聞き入り、「将来の夢を見つけて頑張りたい。」「受験を控えたこの時期に聞けて良かった。」と感想を語っていました。

2月27日(水)、和寒小学校で「和寒の未来を考える会」が行われ、小学6年生と奥山町長が意見交換を行いました。児童は「産業」「観光」「住民福祉サービス」など8班に分かれ、現在の課題や見込む成果、他町の成功例や収支試算を交えた提案があり、奥山町長はそれぞれの発表に真剣に耳を傾け「よく調べている。予算や既存の資源もよく考えている。」とコメントを寄せていました。

